

【NEWS RELEASE】

2018年5月30日

各 位

株式会社三井住友銀行

株式会社みんかぶに「SMBC働き方改革融資」を実施

株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：高島 誠）は、株式会社みんかぶ（代表取締役社長：瓜生 憲）に「SMBC働き方改革融資」を実施致しました。

「SMBC働き方改革融資」は、融資実行時にお客さまの働き方改革推進の取組状況を独自の基準で“見える化”（ ）し、その結果をご提供するとともに、今後の更なる取組推進に向けた情報提供を行う融資商品です。

今回対象となりました、株式会社みんかぶに対する診断結果は、今後、働き方改革が期待できる「働き方改革のグロース企業」となりました。

特に、株式会社みんかぶでは、以下のような取組と実績を有しておられます。

チャットツールを用いた組織を横断するコミュニケーションの活性化や、主要業務におけるAIの導入、OAシステムへの投資等、生産性向上に資する取組を包括的に実施
指紋認証システムを用いて勤務時間を把握し、経営会議内で労働時間を定期的に確認する等して時間外労働の削減を推進。併せて、産業医面談の活用や、福利厚生制度の中でスポーツ施設の利用を可能とする等の施策を通じて従業員の健康維持を支援
フレックスタイム制度を導入し、業務時間中の中抜けも柔軟に認める等、多様な働き方が可能となる環境を整備。テレワーク制度についても導入を検討予定

さらに同社では、今後のさらなる働き方改革に向け、経営トップが、「年代、性別、国籍に捉われず、全ての従業員が充実した労働を実現する」と宣言し、具体的な取組の進化に向けた目標として、以下3点についてコミットしておられます。

- ・多様な働き方の推進
 - 現在 65 歳の定年のさらなる延長を検討し、実現する
 - テレワークの設計を行い、希望社員への導入を検討する
- ・時間労働の抑制による社員の健康増進、プライベートの充実を図るための賃金向上
 - 各部署において一人当たり労働時間の適正値を把握し、監督者の人事考課に反映する
 - 会社の成長実現にあわせ、3 年間の中期計画期間において、従業員の昇給率の維持を目指し、従業員の余暇の充実を促進する
- ・社員とのエンゲージメントの推進
 - 2018 年 4 月より、エンゲージメントシステムを導入し、隔月に一度、社員とのエンゲージメント作業を実施し、その傾向把握を通じて、より働きやすい制度設計や運用を実現する

三井住友銀行では、「S M B C働き方改革融資」により、お客さまの働き方改革に向けた取組を、金融を通じて応援してまいります。

() “見える化”については、基準の客観性および信頼性を確保するため、本分野で豊富な知見を有する株式会社日本総合研究所（代表取締役社長：瀧崎 正弘）に業務を委託しております。

以 上

このニュースリリースは、投資や勧誘を推奨することを目的としたものではありません。